顔の見える木材での快適空間づくり事業

【テーマ】顔の見えるおおさか都心密集市街地木材循環モデルの開発

背景と目的

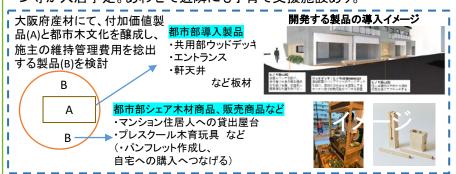
【背景】

- ・SDGs、ウィズコロナ、アフターコロナ社会への都市木質化の需要
- 大阪産材の顔の見えるサプライチェーンの構築必要性
- ・維持管理やメンテナンスも考慮した木質化推進の必要性 【目的】
- ・森林も都市マンションユーザーも持続可能な木材循環活用モデルを構築

対象とするA材丸太を原材料とする付加価値の高い木材製品

都市部におけるマンション需要向けの木材製品(A)と木材製品に必要な メンテナンスに必要な資金を獲得するための都市木シェア商品(B)を セットで製品開発し、付加価値の高い単製品だけでなく、買い手の維持 管理費用捻出にも貢献する木取り・木材製品を開発。

- ※製品開発後は、2020年3月竣工の都市部賃貸マンションへ導入予定 <製品開発後の展開イメージ/検証導入先>
- ・大阪府天王寺区寺田町/20戸の賃貸マンション/1階には、カットサロ ン等が入居予定。あわせて近隣にも子育て支援施設あり。



事業実施主体:おおさか都市木プロジェクト 事務局 一般社団法人 大阪府木材連合会

実施体制・連携グループ

くおおさか都市木循環プロジェクト>

大阪木材サプライチェーンに関係する川上・川中・川下による体制

- 〇一般社団法人 大阪府木材連合会 ※事務局
- 〇おおさか木材コーディネーター、製材所、製品開発等:有限会社田中製材所
- 〇大阪産材調達:株式会社南河内林業
- ○都心密集市街地開発者/マンション事業者:大室組
- 〇施工面等に関する助言:まこと建設株式会社
- ○循環活用に関する設計・検討、パンフレット作成、全体コーディネート 事後のモニタリング・検証、体制構築 :(株)地域計画建築研究所(アルパック)

事業内容(利用拡大に向けた具体的な実施項目)

- ①A材丸太の付加価値が高く、森林と都市の継続的な循環を生み出す ビジネスモデル・製品群の創出
- モデルフィールドにおける木質化可能箇所の洗い出し
- インターネット調査における既存製品・競合製品の洗い出し
- 不動産事業者、金融機関、まちづくり拠点、幼児教育施設等の運営事業 者等へのヒアリング(評価検証箇所の抽出)※制作後にも再度ヒアリング
- おおさか産材の特徴を踏まえた製品企画・開発
- ②循環を生み出すA材丸太の付加価値の高い製品群の開発・制作
- 大阪産材を活用した都市マンションへの導入可能な製品の開発・制作
- ③製品群ビジネスモデル普及のためのパンフレット作成、販促計画検討
- ①~②のプロセスも含めたパンフレットの作成、ターゲットヒアリング
- 販促計画の検討
- (4)試行(フィールドテスト)、報告会開催およびモデル検証のための体制 構築
- フィールドテスト、報告会開催
- 継続的に検証していくための評価指標の設定、体制構築

スケジュール 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 パンフレット作成、販促計画 ビジネスモデル、製品群開発 制作 試行、報告会、体制構築